

美土里会夏祭り盛況

社会福祉法人 美土里会
広 報 誌

はんの木だより

2012

第 52 号

平成 24 年 11 月

社会福祉法人 美土里会
青森県上北郡七戸町字寒水70-17
電話 0176 (62) 2761 (代表)



去る 7 月 28 日（土）、特別養護老人ホーム美土里荘駐車
場にて、平成 24 年度美土里会夏祭りが開催されました。
当日はご利用者・ご家族をはじめ多くのお客さまにお越
しいただきました。盛田稔理事長、盛田薫総合施設長の挨拶に続き、来賓の小又勉七戸町長からも祝辞をいただき夏祭りがスタート。
ゲスト司会者は七戸出身のタレント・瀬川さとしさん。総合施設長と同級生だということもあり、毎年来ていただいています。軽快で絶妙なトークは大好評で、これを楽しみにしているお客さん多いほどです。
最初のアトラクションは、城北保育園園児による踊り。小さな踊り子たちが登場するとお客さまも大喜び。バッチリそろった衣装を着て、一生懸命練習したよさこいを踊る姿はとてもほほえましく、園児たちがポーズを決めるたびに会場から笑みがこぼれていました。
歌謡ショーに登場したのは、日本民謡大賞・県民謡王座に輝いたこともある後藤清子さん。皆が知っている歌謡曲や民謡を歌い、透き通るような歌声で会場を大いに魅了しました。
早乙女清次郎一座による新舞踊では、時代劇衣装をバッチリ決めた迫力ある踊りに会場は拍手喝采。さらに清次郎さんのお孫さんが登場すると、大きな笑い声とあたたかい拍手が。小さいながらも一生懸命踊る姿、そして会場に向かっておじぎをする姿はとても可愛らしく「もうプロだな」

「将来が楽しみだ」という声も聞かれるほどでした。
その後、瀬川さんが「お客さんで歌いたい人はいませんか」と会場に呼びかけるとデイサービスセンター様のご利用者である小倉由五郎さんが元気に手を上げステージ前へ。「俵積み唄」を歌い、会場から大きな拍手を受けていました。
アトラクションで会場が温まった後は、毎年恒例の大抽選会を開催。瀬川さんと総合施設長のかけ合い漫才のようなやりとりで、会場からも大きな笑い声が。特賞の液晶テレビをはじめ豪華景品が当たるとあって熱気は最高潮に。番号が読み上げられると、走って賞品を受け取りにくる方、大きな声で喜ぶ方、賞品を受け取って満面の笑顔を見せる方、外れてため息をつく方など様々見られ、大変な盛り上がりとなりました。
また会場内では JA 十和田おいらせ農協女性部のそばもちをはじめ、美土里会職員による焼き鳥・焼きそば・焼きホタテ・フランクフルトなどを販売。いずれも好評で多くの方にお買い求めいただき、早々に売り切れてしまった商品もありました。
天候にも恵まれた今年の美土里会祭り。日赤奉仕団七戸分団や七戸高等学校の学生など多くのボランティアのご協力もあり、大きなトラブルなく終了することが出来ました。また多数の方にご来場いただき、ありがとうございました。また来年お待ちしております。

花松ふれあい教室

在宅介護支援センターでは、今年度より七戸町委託の『認知症予防教室』を開催しています。美土里荘は花松分館を担当。月に1度、四ヶ村集会所で体操やゲームをしたり、創作をして過ごしています。
なかでもお昼ご飯は栄養士が頭をひねった献立を皆で盛りつけたり、作り方を聞いたり、皆さん楽しみにして下さっています。時にはゴロゴロしながらおしゃべりをして過ごします。
同じ地区に住んでいるのに、なかなか会う機会がないとのこととで、月に1度の教室で顔を合わせおしゃべりするのを楽しみだと言っていました。

委員会特集

介護力向上講習会

全国老人福祉施設協議会主催の「介護力向上講習会」(全6回)へ参加し、介護理論を学び、ご利用者の自立性を回復する「自立支援の介護」の実践に取り組んでいます。

まず高齢者ケアにおける4つの基本ケアは、「水」「食事」「排便」「運動」であり、これら全ての生活面のアプローチから、『おむつ外し』や『食事の常食化』などへ繋がっていきます。

4つの基本ケアは、水分は1日1500ml摂取。栄養は1日1500kcal摂取、低栄養を改善するため常食が最良。トイレもしくはポータブルトイレでの自然排便。歩行器を使用しての歩行訓練というものです。

水分が足りていないと食欲も落ちてしまう。したがって食事量も減る。水分が足りていないと、歩く練習も出来なくなってしまう運動量も減る。運動量が減ると便秘が起こって、排便に支障をきたすようになってくる。このように、この4つの要素はそれぞれがお互いに影響し合っています。

美土里荘では1日の平均水分摂取量が658mlでした。始めはなかなか思うようにいきませんでした。職員もだいたい水分を摂らせてあげられるようになり、水分ケアを開始してから徐々に水分量がアップしてきています。しかし、水分を摂りたがらないご利用者もいらっしゃるため、工夫を取り組んでいます。

その他、講習会の課題で上がった介護度4、5のご利用者の歩行器での歩行訓練では2名を対象に取り組み、今まで車椅子で生活していたご利用者が数メートル歩いた時は、職員・利用者本人共に感動しました。

また、2回目の課題のおむつ外しでは、2名のご利用者を対象に日中おむつを外し、綿パンツに尿とりパットを使用し、トイレでの排泄に取り組んでいます。さらに、自然排便を促すために食物繊維やオリゴ糖、寒天、センナ茶等も取り入れています。

今後はミキサー食から常食化にも取り組んでいく予定です。

講習会に参加して、実際におむつゼロを達成している施設がある事を知り、そんな事が出来るのかと衝撃を受けました。しかし、何ごととも「できない」「必要ない」と思っているのは、実現することは不可能です。そのためには目標に向かう職員の統一した意識が必要です。

まだまだ課題は山積みで簡単なことではありませんが、介護の知識・技術を向上させ職員同士の連携を図り、自立支援に向けて取り組んでいきたいと思っています。



職員紹介

美土里会職員を紹介するこのコーナー、今回は今年4月から勤務している蛭名昭雄副園長と、小館千代治さんをご紹介します。介護の世界は初めてだというお二人に色々聞いてみました。

Q 美土里会に入る前はどの仕事をしていたか?

蛭名昭雄副園長(以下、蛭名) 去年まで七戸町商工会の事務局長、その前は南部縦貫(株)に籍を置き七戸町営スキー場で安全統括管理者として勤務していました。定年までは七戸町役場に勤務していて、商工観光課長や水道課長を務めていました。

小館千代治さん(以下、小館) 青森山田学園付属の北園幼稚園で、バスの運転手と用務員をしていました。その他、七戸生コンや縦貫道路(株)など様々な職種を経験しています。

Q 美土里会ではどのような仕事をしていますか?

蛭名 現在は主に環境整備に力を入れています。美土里会は緑に囲まれた良い場所ですが、整備をすればもっと施設の雰囲気が出るくなり、色々活用できるようにしたいと思います。その他、建物を長く使っていくように、出来るだけお金をかけずに修理・補修しています。また副園長という立場として園長を補佐しながら、今後の事業展開にも携わって行きたいと思っています。

小館 ご利用者の通院介助や運転業務をしています。その他、環境整備にも取り組んでいます。時間はかかると思いますが、少しずつキレイにして行きます。

Q 美土里会の印象はどうでしょうか?

蛭名 今までの職場は、男の職場が多かったですが、ここは女性が多い職場だけあって優しさにあふれていると思います。ただ、優しさだけでは渡っていけない世界だと思うので、もう少し厳しさがあっても良いかなと感じています。

小館 ご利用者に対して、職員がとても一生懸命だと思いました。接し方も生活態度も、真剣さや緊張感があると思います。

Q 介護という仕事そのものに対してはどんな印象を持っていますか?

蛭名 介護という仕事は、よほど覚悟がなければできない仕事だと思いました。ケアの内容そのものがすごく大変なことです。理事長がいつも言っている通り、聖職ではないかと思っています。

小館 私は母がアルツハイマーになった事もあって「勉強したい」と思い、ヘルパー2級の資格を取りました。それでも介護の現場を見ると、勉強だけでは分からないことも多いです。私たちのように介護の経験が少ない者にはなかなか出来ない大変な仕事だと思いましたが、それだけに意義のある仕事だと思っています。

Q 趣味は何でしょうか。また休日はどのように過ごしていますか?

蛭名 映画を見に行ったり、その帰りに温泉に入ったりラックスしています。昔は野球をやっていたんですが、高橋相談員や元西武の橋本武広投手が中学生の時にコーチをしたこともあり、この2人は抜群の野球センスでしたね。その他には、全日本スキー連盟の指導員や公認パトリールの資格をもっているのも、今でもたまにスキー場に行つてパトリールもしています。

小館 主に農作業をしていて、米・長いも・ごぼうなどを作っています。また自宅の庭に桃やさくらんぼなどを植えるなど、庭造りをしています。それとやはり、孫と一緒に出来るのが楽しいですね。今はまだ4歳ですが、遠出ができるようになったら自然をたくさん見せ、感動を味わって欲しいです。

Q 最後に今後の抱負など一言お願いします。

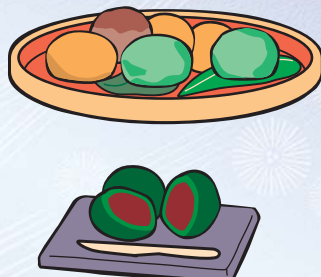
蛭名 美土里会のさらなる発展のために、尽力したいと思っています。

小館 今後美土里会も将来を見えた事業展開をして行くと思いますが、希望と夢を持って努力していかなくてはいけないと思っています。今後も宜しくお願いします。

蛭名副園長と小館さん、お二人ともその豊富な経験を美土里会でぞんぶんに活かしていただきたいと思います。



蛭名昭雄副園長㊤と小館千代治さん㊤



9月20日は彼岸ということもあり、特養ご利用者にもぎ団子作りを教えていただきました。できあがりはいまいましたが、久しぶりのよもぎ団子にご利用者の皆さん「美味しい」と笑顔が見られていました。次回は今回よりもっと美味しく作れるようにしたいと思います。

ボランティア募集中!

社会福祉法人美土里会では、ボランティアを募集しています。お年寄りとお話しをしたり、一緒にゲームをしたり、行事の時に一緒に過ごすなど、介護の世界に触れてみませんか? 経験・未経験は問いません。難しいことは何もありませんので、ぜひ一度お問い合わせ下さい。

TEL (0176) 62-2761



編集後記

は ん の 木 だ よ り、いかがでしたでしょうか? この編集後記が私の広報委員としての初めての記事です。文章を書くのはあまり得意ではないですが、読んでくださる皆様が面白い! と思えるようなものを書けるよう頑張っていきたいと思っています。すっかり寒くなってきましたが、体調にはくれぐれもお気を付け下さい。それではまた次回のはんの木だよりをお楽しみに。

広報委員会一同